

ロータリーの歴史（世界）

ロータリーの創立と目的

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、青年弁護士“ポール・ハリス”はこの風潮に耐えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所が持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴ・ロータリークラブが誕生しました。

それからは志を同じくするクラブが、次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界200以上の国と地域に広がり、クラブ数は約34,000、会員数は約1,220,000人に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー（RI）と称します。

このように歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる事業および専門職務に携わる人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動が求められるようになり、現在は多方面にわたって多大な貢献をしています。

世界ロータリーの歴史

- 1905年 シカゴロータリークラブ創立
- 1906年 綱領とクラブ徽章として車輪のマークを採用
- 1910年 全米ロータリークラブ連合会を設立
- 1917年 ロータリー財団の先駆、Rotary Endowmentを設置
- 1922年 本部組織をRI（Rotary International）に変更
- 1943年 国際ロータリーが正式に「四つのテスト」を採択
- 1947年 ロータリー創始者ポールハリス死去
- 1950年 デトロイト大会において、「Service above self」「He profits most who serves best」が公式標語として採択される
- 1955年 RI創立50周年記念国際大会をシカゴで開催
- 1985年 ポリオ・プログラム開始
- 1989年 女性会員が認められる
- 2005年 ロータリー100周年国際大会 シカゴ
- 2009年 RIとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が共同でポリオ撲滅に2億ドル投入
- 2010年 EクラブがRIより正式に認められる
- 2013年 ロータリー財団の「未来の夢計画」が全地区で実施

（文責 丹治正博）